

## 和歌山県教育委員会臨時会議録

- 日 時 平成27年10月26日(月) 10:00~
- 場 所 教育委員会室
- 出席者 宮 下 教育長  
竹 山 委 員  
佐 藤 委 員  
野 田 委 員  
野 村 委 員  
桑 原 委 員  
牧 野 教育企画監  
楠 生涯学習局長  
田 村 学校教育局長  
中 川 総務課長  
岡 本 給与福利課長  
雑 賀 生涯学習課長  
原 生涯学習課人権教育推進室長  
志 場 スポーツ課長  
池 田 県立学校教育課長  
南 義務教育課長  
笹 井 学校人事課長  
岩 井 健康体育課長  
小 滝 高校総体推進課長  
木 皮 教育センター学びの丘所長  
塩 谷 総務課副課長  
深 野 総務課秘書班長  
北 山 総務課主事  
北 野 総務課体育指導員

## 1 開 会

○教育長 ただ今から、教育委員会臨時会を開会する。

本日の議題である議案第41号については人事案件であるため、非公開としたいがよろしいか。

(異議なしの声)

○教育長 議案第41号については非公開とする。

(異議なしの声)

## 2 報告事項

報第6号

平成28年度和歌山県立高等学校生徒募集定員について

○教育長 報第6号「平成28年度和歌山県立高等学校生徒募集定員」について説明願いたい。

○県立学校教育課長 10月委員協議会にて説明し、10月23日(金)記者発表を行った平成28年度和歌山県立高等学校学校別・学科別募集定員について、中学校卒業予定生徒の推移、地域の状況、県内私学への入学、県外流出等をふまえ、総合的な観点から慎重に検討を行った。特に、県外への進学が毎年320名~400名程と無視できない状況であり、今年は県の方針として、県内の子どもは県で育てたい、子どもたちの進学希望を叶えさせたいという観点があったため、200名程度の生徒減に対し、募集定員は80名減の2クラス減とした。具体的には、全日制高等学校で笠田高校の普通科、串本古座高校串本校舎の普通科で、それぞれ1クラス減となった。定時制については、増減はない。通信制については、学び直しの方も多くいるため、定員については特に定めていない。市立高等学校については、和歌山市立高等学校、海南市立高等学校の両校とも変更はない。

○教育長 記者発表の際に、記者からどのような質問があったか。

○県立学校教育課長 記者は、中学校卒業予定生徒数が平成に入って最小の人数であり、子どもが減少しているという点に興味を持っていた。また、笠田高校と串本古座高校串本校舎で減級した理由について質問があり、それぞれ

の地域で中学校卒業予定生徒数が50名から60名程度減少しているという説明を行った。

○野村委員 記者発表後、減級のあった地域の反応は。

○県立学校教育課長 串本古座では特にない。伊都地域は今回、中学校卒業予定生徒数が減っているため、今の中学校3年生に不利な状況にはなっていないという説明を行った。

○教育長 例年県外へ進学している子どもたちが県内で進学できるような定員は用意した。事務局は、県内へ進学する子どもたちを受け入れられる体制を高等学校において整えていく必要がある。また、中学校には、生徒に県内高校への進学を勧めていただくよう、強く呼びかけていく必要があるので、義務教育課とも連携し、取り組んでいく必要がある。

○教育長 それでは、よろしいか。

(異議なしの声)

○教育長 報第6号については、報告のとおり了承された。

### <非公開議案>

議案第41号

教職員の処分について

学校人事課長から、教職員の処分について説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

### 3 閉会

○教育長 これで、予定されていた議事が全て終了したので、教育委員会臨時会を閉会する。

(10:40閉会)